

## 大分市文化・芸術まちづくり会議委嘱状交付式

### 第1回大分市文化・芸術まちづくり会議 概要

項目	内容
開催日時	平成28年5月19日(木) 15:30~<委嘱状交付式> 平成28年5月19日(木) 15:45~<第1回会議>
会場	大分市役所議会棟4階 全員協議会室
出席者 (交付式)	佐藤市長、大山会員、尾野会員、是永会員、佐藤(哲)会員、佐藤(理)会員、中山会員、三浦会員、ヨシダ会員、増田企画部参事(玉衛企画部長代理)、広瀬文化国際課長、安東文化国際課参事
出席者 (会議)	大山会員、尾野会員、是永会員、佐藤(哲)会員、佐藤(理)会員、高橋会員、中山会員、三浦会員、ヨシダ会員、増田企画部参事(玉衛企画部長代理)
次第	<ol style="list-style-type: none"><li>1 開会</li><li>2 事務局より確認事項</li><li>3 会員の自己紹介</li><li>4 事務局の紹介</li><li>5 「創造都市大分」の実現に向けて 三浦宏樹会員ご講演</li><li>6 議事 議題1 会長及び副会長の選任について 議題2 会議の公開・非公開の取り扱いについて 議題3 「創造都市大分」の実現に向けて意見交換</li><li>7 その他 (1) 次回大分市文化・芸術まちづくり会議日程について (2) その他</li><li>8 閉会</li></ol>

#### 【概要】

##### 1. 委嘱状交付式

■委嘱状交付(佐藤市長⇒会員代表として三浦宏樹会員へ)

■佐藤市長あいさつ

▽会員ご就任ありがとうございます。

地震により被災された方々にお見舞いと、お亡くなりになられた方々にお悔やみ申し上げます。大分市では大きな被害はありませんでしたが、観光面で影響が出ています。大分は元気である、熊本一緒にがんばりましょうとメッセージ

を出して九州全体で頑張ってもらいたいと思います。

▽大分市では昨年度トイレンナーレや豊後 FUNAI 芸術祭を開催するなど芸術文化を活かしたまちづくりに取り組んでまいりました。今後も2018年国民文化祭、2019年ラグビーワールドカップ、2020年には東京オリンピック・パラリンピックなど国際的なイベントが目白押しです。こうした契機を活用して、大分の魅力をさらに高めていくとともに、その魅力を全国に、そして世界に発信していきたいと考えております。

▽昨今、創造都市ということがいわれていますが、大分市も創造都市として未来に大きく羽ばたいていけるような取り組みをしてまいりたいと考えておりますので、様々な取り組みに向けた積極的なご意見を皆様よりいただければ幸いです。是非よろしく願いいたします。

## 2. 「創造都市大分」の実現に向けて 三浦宏樹会員ご講演

### 2. 会長及び副会長の選任について

■会長⇒三浦宏樹会員

大分県芸術文化スポーツ振興財団参与兼アーツラボラトリー室室長

■副会長⇒尾野文俊会員

大分経済同友会 常任幹事

にそれぞれ決定。

### 3. 会議の公開・非公開の取り扱いについて

■原則公開に決定。

■会議の内容に応じ、部分的に非公開とする場合等にはその都度、会議として判断する。

### 4. 「創造都市大分」の実現に向けて意見交換

(会員) 今年から文化庁、観光庁に加え、スポーツ庁の3庁合同で地方創世に取り組むとしている。本会議でも、「芸術」「文化」に「スポーツ」を加えて議論を広げると、大型イベントへの対応もやりやすくなると感じている。

先日の熊本・大分の震災では、大分においては観光面の被害が大きい。先日、日本銀行の大分支店がホームページに、見込みということで震災被害レポートを出しているのをご覧になってもらいたい。

これから我々に求められることは、被害状況に関する正確な情報を県外に積極的に発信していくことと、県外から観光客が戻ってくるまでの間、我々県内の人間から応援してくことであると書かれている。大分市においても「#おおいた元気」プロジェクトを実施しているが、そういったことも我々はこの会議の中で考えていかなければならない。

隣接する都市とも、助け合って一緒になって成長していかなければならないとい

うことで、「大分都市広域圏」という考えも踏まえながら会議を進めて行くと良いと思う。

(会員) 議論の範囲としては、大分市文化・芸術振興計画にもあるように「芸術」だけでなく、「祭り」「スポーツ」あるいは「食文化」「景観・建築物」など非常に広い分野に及ぶ。こうしたものをいかにして総合的に大分市として、あるいは大分都市圏として魅力を向上させていくのかということが議論の対象になると考えている。

(会員) 大分へ訪れた方々に、「文化・芸術」というものを「観光資源」としてみせることができればおもしろいと感じている。

(会員) 2019年のラグビーワールドカップ開催に向けた取り組みの中で、ラグビーの魅力伝えていくだけではなく、国内外から訪れた方々に大分の「歴史」や「文化」、「食」も含めた魅力をどのようにして伝えていけばよいのかを考えている。その仕掛けのポイントを2019年に置くのではなく、徐々に積み上げていかないと機運も高まっていかない。

大分に住んでいても気づかないことは多くあるので、それを再発見しながらこの会議で議論し、ラグビーワールドカップに向けて盛り上げていきたい。

(会員) 国民文化祭、ラグビーワールドカップ、オリンピックとビッグイベントが続いていく中、どのように計画的に積み上げていくのかということは重要である。大分市が他市町村と連携して進めていくことを期待するが、そのために我々が何か助言できればと考えている。

(会員) 府内戦紙や車椅子マラソンなどのイベント支援として、学生たちが自ら役割を決めて積極的にボランティア参加しているが、ただ参加するというのはもったいないことである。

アートに関する感性を高め、またアートマネジメントを学べる環境が必要であり、今回大分市が取り組もうとしていることについては楽しみにしている。学生たちにとっての修練の場にもなると期待している。

(会員) デザインという分野は産業とも深いつながりがあるが、学生たちが卒業作品展などで頑張っている姿は大分の貴重な宝である。

(会員) 若い世代の人材育成が重要である。大分市ではトイレナーレなどさまざまなイベントを実施しているが、若い世代も含めて多くの人への浸透が図れていないという声をよく聞く。「アート」というものはお堅いもの、一部の人のもの、難しいものであると捉えられがちであるが、そうではないということをこの会議を通

して伝えられればと思っている。

(会員) 国民文化祭は今年の愛知県からあり様が大きく変わる。奈良県、大分県と続いていくが、大分県から本格的に変わると思って準備したほうがよい。

「領域横断的」なものが必要であり、「次世代への架け橋」といったこともこの会議で議論していきたい。

(会員) 国民文化祭、ラグビーワールドカップ、オリンピックで終わるのではなく、さらにその後も繋げていくことが重要である。

先ほど若い世代の話があったが、トイレナーレで若い世代のボランティアスタッフが街なかを歩きながら移動型インフォメーションとして大分の魅力を伝えていったというような取り組みは重要である。

(会員) 芸術というものを若手にどう示し、育てていくのか、また特定のアーティストだけでなく広く市民、県民へ伝えていくことがこの会議の意義であると考えている。

いかにして大分市の文化・芸術というものを2021年からも伝承していくのかを考えていくことが必要である。

ラグビーワールドカップで最も必要なことは、競技会場以外で設置されるパフォーマンス高い露店である。街なかで誰でもいいので楽器パフォーマンス出来るといったような環境作りが必要である。

(会員) 2002年サッカーワールドカップでの大分市の取組みがファンゾーンの成功のイメージである。市内をお祭り広場にして、市民が楽しみ、主役であり、そこに国内外から来た人たちが一緒に楽しむというものであった。

2002年から比べると文化・芸術のコンテンツが増えてきているので、また違う角度からも楽しんでもらえるのではないかと考えている。

(会員) 城址公園を中心に各地域の水辺を利用するというのも考えていくと、「場」を活かしながら繋がっていくことが出来るのではないかと考えている。たくさん整備された素晴らしい河川敷があるにもかかわらず、大分市民でも知らない方も多くいる。人が入れば入るほど水辺というのは安全にも清潔にもなっていき、街も生きていくものである。

例えば、佐賀関の海岸から利用してウォーターフロント、城址公園まで繋がるなか構想を考えたときには、「瀬戸内国際芸術祭」の観客を引っ張ってこられるのではないかと考えている。

(会員) BEPPU PROJECT がこれまで活動を継続してこられたのは、学生たちが

先輩、後輩として次々に関わってきたということが大きい。今は卒業して各分野で活躍しているが、次世代の若手リーダーを今後どうやって発掘していくのかが課題である。

(会員) 先ほど街なかや水辺の活用という話があったが、道路などの公共空間での活動にまだまだ慣れていないというのが現状であると思う。規制の問題ではなく、やってはいけないと思いついでいるところがある。「場所」、「人材」、「何をするのか」といったことをセットで提供し、水面下にいる人を表に引き上げていくことが重要である。

(会員) この会議で出る意見を受け止める組織として、是非、今回新たに設置された市内組織「大分市文化・芸術まちづくり市内検討会議」を実行力のあるものとしていただきたい。